

GREEN RANGER NEWS

2024年3月号 Vol.357



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

今日はひな祭り、あさっては啓蟄、中旬には春の選抜高校野球が始まり、いよいよ春の到来ですね。昨日ウグイスの鳴いている声を聴きました。スギ花粉の飛散量も増えたようで、今もかゆい目をこすりながらPCに向かっております。

GR ニュース 3 月号をお届けします。

ブナと水を守る会事務局

■総会の報告

日時:2月11日(日)10:00~12:00

場所:名取駅コミュニティプラザ1階ホール

会員51名の内、出席者12名、表決委任者31名での開催となりました。

第1号~4号議案の、2023年度事業報告、2023年度決算報告・監査報告、2024年度事業計画案、2024年度予算案について、満場一致で承認されました。

今年は役員の変更の年です。新役員は次の通り決まりました。

理事長:白内恵美子(留任) 副理事長:四釜咲男(新任)

理事:仲村得喜秀 山田静枝 森淑子 後藤五郎(4人共留任)

(理事の退任:森山稔也 丹野みき)

会計:森淑子(留任) 監査:丹野みき(新任)

今後の活動について話し合い、次のように決まりました。

- ・会員の高齢化もあり、今後の活動は若い世代に移行していきたい。
- ・刈払いの作業料を一日単位から一時間単位に変更する。
- ・互理グリーンベルトの活動は当会としては参加せずに、有志での活動とする。

最後に、動物の動画鑑賞会を行いました。今回の動画は、2023年中に彩遊の森、アナグマの森、リスの森で撮影された動画のダイジェスト版でしたが時間内に終了できず、残りは例会中にお見せすることにしました。

久しぶりに会えた方や新入会員の自己紹介もあり、嬉しい総会となりました。

■2月の活動報告

- ・2月25日(日)10:00 スノーシューで歩く会

梅が咲き始め、ウグイスの初鳴きを聴き、もう早くも春かと思っていたら雪。この時季、やはり雪が無ければと勇んで行く。作業小屋への間道入口に「通り抜けできず！」の看板。積雪はほんの5

～6cmか、先人のわだちもある、それに沿って駐車場まで無事到着。ドアを開けると、白石スキー場のスピーカーが嬉しそうに響いてきた。

まずは例年の如く、あーでもこーでもないとスノーシューを履き、倒木の調査も含めて彩遊の森へ散策に出発。木々の枝や芽吹きに氷が着いている。これが樹霜(じゅそう)なのだろうか？隣のカメラマンが「青空だったらなあ」と残念がる。輝く幻想的な絵が撮れるのだがと頷く。その寒さに負けず、芽は着実に大きく膨らんで来ている様だ。

そのままリスの森へ移動、雪をかぶったフッキソウの絨毯を越えて行く。ウワミズザクラの木肌に刻まれたクマの爪痕が生々しい。あんな細い枝まで登って落ちないものだ后感心する。ツリーハウスを眺めて、補修の対策を練る。

アナグマの森へ。イヌエンジュやイヌザクラの古木を眺め、ブナの今年の芽の成長はと膨らみ加減に期待する。

動物の跡、ウサギの足跡と糞があちこちに、キツネやカモシカの足跡、雪に腹をこすってる様な跡はアナグマか？

倒木は、蔵王おろしのみならず植林木を助けて全うしたヤマハンノキが結構倒れていた。ありがとう、来月から処理させていただきます。マンサクも咲き、シュンランが雪の下から、また来いと言っている。 参加者:6名



散策、フッキソウ、茸

ブナ、マンサク、ノウサギの糞

倒木・ヤマハンノキ

■今後の活動について

【例会】

日時:3月10日(日)10:00

場所:作業小屋

内容:風倒木処理、リス・アナグマの森のカラマツ伐採

【例会】

日時:3月24日(日)10:00

場所:作業小屋

内容:風倒木処理、リス・アナグマの森のカラマツ伐採